

令和元年度 生徒アンケート【集計】

	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	授業には集中して取り組み、 学習内容を理解しようと努力している。	38	53	8	0	20	50	8	0	33	49	8	0	91	152	24	0	3.30	3.15	3.28	3.25
2	先生方の指導は素直に受け止めている。	51	42	6	0	30	37	10	1	41	45	4	0	122	124	20	1	3.45	3.23	3.41	3.37
3	課題にはしっかり取り組み、 計画的な家庭学習をしている。	16	52	28	3	10	36	24	8	12	47	24	7	38	135	76	18	2.82	2.62	2.71	2.72
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。	12	17	30	40	8	8	29	33	17	15	25	33	37	40	84	106	2.01	1.88	2.18	2.03
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、 周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	69	25	3	2	52	20	6	0	58	28	3	1	179	73	12	3	3.63	3.59	3.59	3.60
6	校則（頭髪・制服等）や交通規則の意味を理解して、 きちんと守っている。	63	31	5	0	43	31	3	1	54	33	3	0	160	95	11	1	3.59	3.49	3.57	3.55
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、 周りにより印象を与える身なりに気をつけている。	41	46	10	2	35	35	7	1	50	35	5	0	126	116	22	3	3.27	3.33	3.50	3.37
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。	31	60	6	2	33	36	9	0	42	41	6	1	106	137	21	3	3.21	3.31	3.38	3.30
9	進路について真剣に考え、 目標を持って学校生活を送っている。	27	59	12	1	20	46	11	1	52	34	3	1	99	139	26	3	3.13	3.09	3.52	3.25
10	進路講話や職場体験学習を通して、 働くことの意義をよく考えている。	20	53	26	0	18	44	11	5	44	39	6	1	82	136	43	6	2.94	2.96	3.40	3.10
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することが ある。	7	20	34	38	4	11	32	31	13	40	19	18	24	71	85	87	1.96	1.85	2.53	2.12
12	自分の健康状態を知り、 治療など早めにおこなうよう心がけている。	40	41	18	0	30	38	9	1	44	36	10	0	114	115	37	1	3.22	3.24	3.38	3.28
13	体力の維持・向上のために、 部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	55	33	9	2	30	38	10	0	46	36	6	2	131	107	25	4	3.42	3.26	3.40	3.37
14	怪我等をしないように安全に注意して、 学校生活を送っている。	53	45	1	0	34	39	3	2	55	32	3	0	142	116	7	2	3.53	3.35	3.58	3.49
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのよう に結びつくか、イメージすることができる。	25	58	12	4	18	41	14	5	39	33	13	5	82	132	39	14	3.05	2.92	3.18	3.06
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	31	55	9	4	18	47	10	3	31	43	12	4	80	145	31	11	3.14	3.03	3.12	3.10
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	33	46	18	2	22	28	21	7	23	36	24	7	78	110	63	16	3.11	2.83	2.83	2.94
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習 成果発表のための行事に積極的に参加している。	20	53	20	5	11	47	17	3	20	42	18	10	51	142	55	18	2.90	2.85	2.80	2.85
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許 されないことだと理解している。	59	37	3	0	48	26	3	1	60	27	2	1	167	90	8	2	3.57	3.55	3.62	3.58
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。	39	48	11	1	30	36	7	5	43	36	9	2	112	120	27	8	3.26	3.17	3.33	3.26

令和元年度 生徒アンケート【年度比較】

質問	入学年度	平成29年度			平成30年度		令和元年度
	学年	1年次 (H29)	2年次 (H30)	3年次 (R1)	1年次 (H30)	2年次 (R1)	1年次 (R1)
1	授業には集中して取り組み、学習内容を理解しようと努力している。	3.06	3.09	3.28	3.12	3.15	3.30
2	先生方の指導は素直に受け止めている。	3.06	3.24	3.41	3.33	3.23	3.45
3	課題にはしっかり取り組み、計画的な家庭学習をしている。	2.46	2.67	2.71	2.49	2.62	2.82
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。	2.06	2.22	2.18	1.95	1.88	2.01
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	3.42	3.48	3.59	3.56	3.59	3.63
6	校則（頭髪・制服等）や交通規則の意味を理解して、きちんと守っている。	3.47	3.57	3.57	3.53	3.49	3.59
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、周りにより印象を与える身なりに気をつけている。	3.33	3.38	3.50	3.41	3.33	3.27
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。	2.96	3.13	3.38	3.13	3.31	3.21
9	進路について真剣に考え、目標を持って学校生活を送っている。	3.18	3.32	3.52	3.09	3.09	3.13
10	進路講話や職場体験学習を通して、働くことの意義をよく考えている。	3.00	3.24	3.40	3.12	2.96	2.94
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することがある。	2.32	2.62	2.53	2.13	1.85	1.96
12	自分の健康状態を知り、治療など早めにおこなうよう心がけている。	3.24	3.27	3.38	3.17	3.24	3.22
13	体力の維持・向上のために、部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	3.24	3.37	3.40	3.34	3.26	3.42
14	怪我等をしないように安全に注意して、学校生活を送っている。	3.36	3.46	3.58	3.49	3.35	3.53
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのように結びつくか、イメージすることができる。	2.81	2.82	3.18	3.04	2.92	3.05
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	2.95	2.99	3.12	3.05	3.03	3.14
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	2.81	2.62	2.83	2.83	2.83	3.11
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習成果発表のための行事に積極的に参加している。	2.70	2.85	2.80	2.66	2.85	2.90
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許されないことだと理解している。	3.56	3.51	3.62	3.57	3.55	3.57
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。	3.09	3.03	3.33	3.24	3.17	3.26

凡例

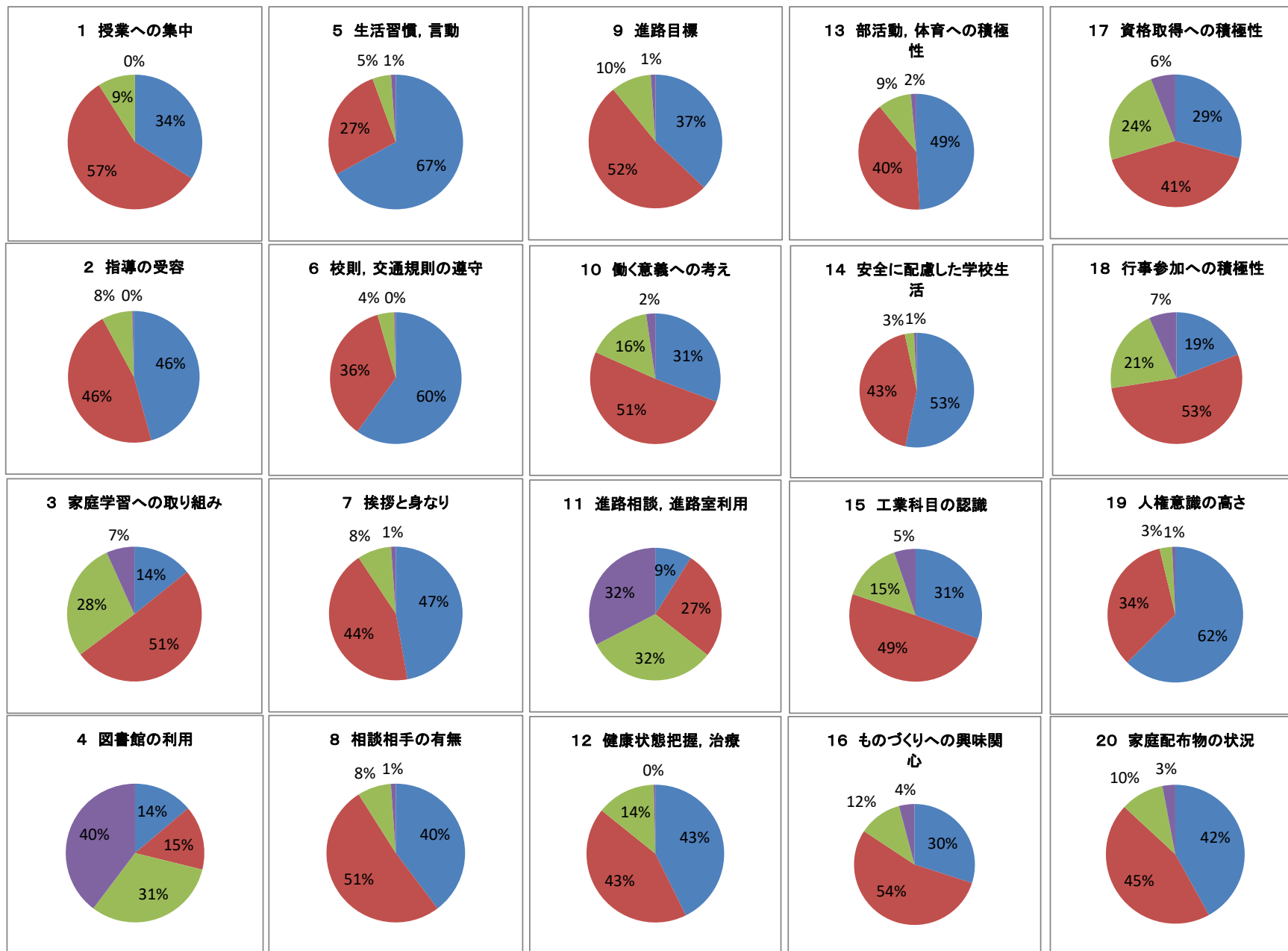


4 : よくあてはまる

2 : あまりあてはまらない

3 : ややあてはまる

1 : まったくあてはまらない



(参考資料)

令和元年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
1	授業には集中して取り組み、 学習内容を理解しようと努力している。	教務	教務	「あてはまる(4と3)」という全体の割合は、H29(83%)、H30(86%)、今年度(91%)と推移している。今年度の1年生(3.30)に比べて評価が低かった2・3年生も、学年が上がるにつれて評価が上昇している。特に3年生の上昇(3.09→3.28)が著しい。ただ、「あてはまらない(2と1)」という生徒の割合が学級間で大きく、教員側の認識と合致している。授業に集中できる雰囲気を持し、学習意欲のある生徒への支援ができる具体的な取り組みを検討すべきである。
2	先生方の指導は素直に受け止めている。			90%の生徒が「あてはまる」と評価しており、その割合は年々わずかながら増加している。「あてはまらない」生徒は全体で21名で、その半数は2年生である。就職を主とする進路意識が高まる結果、年次が進むにつれ評価が上がるのが適切と考えられるが、2年生の平均値が1年次よりも低下している状況は問題といえる。配慮や支援を要する生徒に対する理解も含め、指導方法のあり方を見直す必要がある。また、学習指導上と生活指導上の「素直さ」が混同される可能性がある質問であるので、来年度は質問内容を変更する予定である。
3	課題にはしっかり取り組み、 計画的な家庭学習をしている。			35%が「あてはまらない」と回答しており、ほぼ例年と同様である。多くの生徒が家庭学習を行わない実態が変わらない状況を示している。定期考査前や資格試験対策以外の、自発的な学習活動はほとんど行っていない。3年生では改善される傾向であることから、進路目標の具体化が大きく影響するものと考えられる。進路目標の早期設定と学習計画の作成への指導、家庭での積極的な声掛けなどに加え、積極的な自宅課題の実施も自宅での学習習慣の形成には必要と考えられる。
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。		図書・ 研修	3割以上の生徒が「生徒が図書館を利用しているか」、「図書に親しんでいるか」という問いに「まったくあてはまらない」と答えている。図書館利用をする生徒は決まっており、授業等でないと自発的に訪れることのない生徒や、卒業するまでに一冊も図書館で本を借りない生徒も存在する。高校に入ってからではなく、幼い頃から本に親しんでないことも考えられる。また読むと答えた生徒もライトノベル系の本が多く、ジャンルに幅は見られない。最近では生徒からテレビ番組も見ないと耳にすることが多く、テレビ離れだけではなく、スマホやパソコンを使用する時間に変わっているのではないかとと思われる。
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、 周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	生徒指導	生徒指導・ 交通指導	今年度の生徒への指導項目や日々の遅刻・欠席・早退の数との比較を取ると、大きくギャップが感じられる。学校全体でこの項目に全く当てはまらないとしている生徒が3名だけであるが、この項目に該当する生徒は多々いる。自己理解能力が発達していないのか、適当に答えているのか、やや心配な傾向が見られる。一方、平均値でとらえるとほとんどの生徒が自立心を育てる傾向にあることは頼もしいことである。
6	校則(頭髪・制服等)や交通規則の意味を理解して、 きちんと守っている。			守ろうという意識の低い生徒が各学年約5名弱いる。昨年度に比べ減ってきているが、2年生においては平均が昨年度より下がっており、校則を守ろうという意識が甘くなってきている。交通においては2年生で手続き不足が数名出ており、守らないといけないという意識が低くなっている。全項目の中で比較すると、生徒指導に関する項目は高い傾向にある。一人ひとりの生徒は、学校生活をしっかり送ろうという意欲が高いと捉えることができる。

(参考資料)

令和元年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果	
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、周りによい印象を与える身なりに気をつけている。	生徒指導	生活 導 交 通 指	語先後礼に関して様々な場面で指導が十分でないように思える。職員の率先垂範や、授業やSHR等を活用して、挨拶に関する指導を充実できれば、より良い挨拶環境ができると思われる。 なお、この項目についても比較的高い傾向にあり、生徒が自主性を持って日々生活している現れと思われる。	
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。		教育 相 談	90%以上の生徒が相談相手がいるといった一方で、相談相手が全くいないと考えられる生徒もいる。居場所がないという声も聞くので、生徒が気軽に休めるような相談室を設置する必要があると考える。	
9	進路について真剣に考え、目標を持って学校生活を送っている。		進路 情 報 指 導	進路 情 報	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年より8ポイント増え89%であった。なお1・2年生に関しては「よくあてはまる」という評価が20%と低い状況となっている。担任と連携しながら、入学時より卒業後の進路を検討する取り組みを行う必要がある。
10	進路講話や職場体験学習を通して、働くことの意義をよく考えている。			進路 指 導	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年より4ポイント増え82%となった。学年毎の進路ガイダンスや就職・進学説明会、県内企業説明会等を行うことで現場の声を聞くことができ、進路に対しての意識の高まりが見えてきた。
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することがある。			進路 相 談	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年より1ポイント減り36%と低い状況となった。進路を控えた3年生の肯定的評価は全学年の中で最も高い状況で、前年度に比べると7ポイント増え59%となったが、1・2年生の肯定的評価に関しては低い状況となっている。全学年が積極的に進路資料室を活用する環境づくりが必要である。
12	自分の健康状態を知り、治療など早めにおこなうよう心がけている。	保健	保 健	年度比較をみると、2・3年生ともに入学年次より評価が少しずつ高くなり、意識の向上がみられる。例年1年生の意識が低い傾向にあったが、今年は「まったくあてはまらない」と答えた生徒が0人となっている。治療に関しては家庭の意識も重要である。夏休み前にも受診を勧める連絡をしたが、今後さらに家庭との協力体制を重視することが必要である。	
13	体力の維持・向上のために、部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。		体 育 指 導	89%の生徒が、体力の維持・向上のための取り組みに対し、肯定的にとらえている。昨年も88%が肯定的にとらえており、運動に対して多くの生徒が積極的であることがわかる。また、「まったくあてはまらない」という生徒は、昨年度と同じ4人であった。運動に対して積極的な姿勢を生かし、心身の健康を保ち、学校生活につなげていけるようにしていきたい。	
14	怪我等をしないように安全に注意して、学校生活を送っている。		安 全 指 導	96%と多くの生徒が肯定的な評価である。昨年度の93%からも3%増加し、例年高い水準にある。「まったくあてはまらない」という生徒は昨年同様2人であり、多くの生徒が安全に注意しているといえる。しかし、中には実際にケガをしたり、窓ガラスを割るなど器物破損をしたりなど、まれにみられる。実習の授業など学校生活のさまざまな場面で、継続的な指導が必要である。	

## (参考資料)

## 令和元年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのように結びつくか、イメージすることができる。	各学科	建築	入学当初は、初めての教科がほとんどであり興味を持ちながら授業を受けているが、学校や授業にも慣れて軽く見始めている。3年生になり、進路を考え始め専門分野だけではなく、様々な職種を意識した傾向なのではないか。
			機械電気	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が全体で80%と比較的高い状況となった。特に、3年生に関しては、「よくあてはまる」という評価が他学年と比較し、約20ポイント程度高かった。ただし、2年生のみ「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という否定的評価が20%を超えている状況もあり、今後、キャリア教育の視点での教科指導の充実が求められる。
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	各学科	建築	学校生活にも慣れ、ある程度行動する事ができるようになり、ものづくりや資格取得、進路について関心を持ち始めたのではないか。3年生になり、その資格を活かし、広い意味でのものづくりへの取り組みが出て来たのではないか。
			機械電気	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が全体で84%と比較的高い状況となった。生徒のものづくりへの興味関心を更に高めるために、例えば産業界と連携した実践的な実習を取り入れるなど、実習内容の充実を図る必要がある。
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	教務	学習検定	学年が上がるにつれ、評価平均値が低下している(1年:3.11, 2年:2.83, 3年:2.83)。入学時は資格を取得したいと意気込んでくるが、実際に資格試験の勉強を始めると、難しさにふれて諦めてしまう生徒がいるのではないかと考えられる。問題文を読み解くことができる基礎学力の向上と、諦めずに受験し、結果が出ずに悔しい思いをしたからもう一度チャレンジをするといった粘り強さを身に付けさせる指導を考えたい。
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習成果発表のための行事に積極的に参加している。		教務	年次が進むにつれてやや評価が高まるが、全体として積極的な参加意識があるとはいえない。行事に限らず、様々なことに積極的に取り組む生徒とそうではない生徒の差はもともとあるが、今年度は「4」の割合が10%減少しているのが気掛かりである。積極的な参加を促し、成功体験を積ませることで改善につなげていきたいと考える。
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許されないことだと理解している。		人権教育同和	学年に依らず、評価平均値は高い値を示しており、義務教育からの人権同和教育、道徳教育が効果的に働いていることが窺える。本校で行っている現在の様々な取り組みを継続しながら、「いじめ」や「いじり」のない安心・安全の確保された学校を目指していく必要がある。
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。			82%の生徒が「あてはまる」と回答しており、昨年に比べ評価の平均値がやや改善した(3.14→3.26)。ただ、配付物は保護者への主な情報提供の手段であることを考えると、割合がわずかであっても「あてはまらない」生徒がいることは問題といえる。スマホの普及、ICTの高度化を踏まえ、学校HPやブログなどで、直接、保護者に情報発信していくことも必要である。